



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

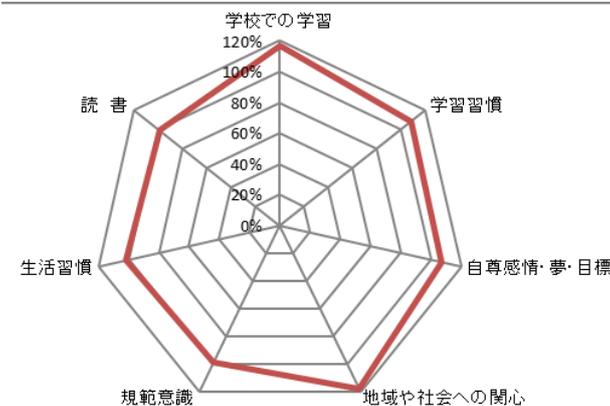
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析 (傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	内容別で見ると、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均とほぼ同程度だが、「書くこと」については、全国平均を上回っている。観点別で見ると、「知識・技能」「思考・判断・表現」共に、全国平均とほぼ同程度である。	同程度である
算数	領域別で見ると、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」全ての領域で、全国平均を上回っている。観点別で見ると、「知識・技能」「思考・判断・表現」共に、全国平均を上回っている。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・地域や社会への関心が高く、学校での学習も熱心に取り組んでいる。特に自分で計画を立てて勉強したり、学習したことを生かして自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりすることができている。
- ・自尊感情が高く、自分のよいところや将来の夢や目標をもっている児童が多い。
- ・家庭学習の時間が全国平均より下回っている。特に、土曜日、日曜日の学習時間がかなり下回っている。
- ・携帯電話やスマートフォン、コンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童は全国平均を下回っている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取り組み

① 教科に関する取組

- ・言語力を高める取組として、読書の時間の確保、漢字を文の中で正しく使う練習、資料を使って自分の考えを伝える場面を多く取り入れた授業を行っていく。(国語科、社会科、算数科、理科、総合的な学習の時間を中心に)
- ・引き続き、ノートに自分の考えを書いたり、振り返りを書く活動を授業に位置付ける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・苦手とする領域や読書・漢字学習等、家庭学習の出し方・内容の充実を図る。
- ・携帯電話やスマートフォン、コンピュータの使い方についての約束、時間について、児童には健康教育や道徳の時間を使って指導する。保護者へは、ホームページ、学校通信、関係文書の配布等で啓発する。